

自作教具の活用事例

<p>【作品名】 日々の活動（掲示物）</p>	<p>【学校名】 日上市立塙山小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 自立活動</p>	<p>【制作者名】 松本 優子</p>
<p>【制作の意図】 ・本学級の児童は、自己表現が苦手な児童が多い。視覚認知の弱さがあり、目で見た情報を捉えづらく、成功体験の少なさも課題だった。そこで、モデルのある制作活動に取り組んできた。仲間とかかわり合いから、自己表現・成功体験の高揚につなげたいと思った。</p>	<p>【取り組みの一部】 個別または小集団で実施した例 ・絵本 "I like me."の作成 ・鳥獣戯画の模写と物語作り ・ススキでミミズク作り ・季節絵（鯉のぼり・花火等） ・狂言（道德の時間に発表） ・国語 場面絵（ごんぎつね等）</p>
<p>【制作上の工夫】 ・季節感あふれる作品作りを意識し、短時間で完成し、相互に各自の作品を認め合える時間をもった。いい所をたくさん伝え合うことで、自信につなげた。</p>	<p>【写真】 鯉のぼり  </p>
<p>【写真】 I like me. </p> <p>鳥獣戯画  </p> <p>すすきミミズク  </p>	<p>狂言 ぶす  柿山伏 </p> <p></p> <p>ごんぎつね場面絵  </p>
<p>【材料・材質・部品等】 ・画用紙 ・絵の具 ・ススキの穂 ・書籍（絵本等）</p>	<p>【使用効果と応用発展】 ・気持ちが沈むことがあっても、楽しみながら取り組むことができた。作品が完成して積み重なっていくことで、達成感が目に見えた。個人ごとの制作活動は、共同作業に発展し絆に繋がった。</p>